

人口減少の背景には、さまざまな問題が密接に関わっており、
一朝一夕に解決できるものではありません。

しかし、青森県にとって、人口減少克服は「待ったなし！」の最重要課題です。

では、人口を増やす、あるいは、少しでも減少を食い止め、安定させるにはどうすればよいのでしょうか。
それは、一人ひとりが「青森に生まれて良かった！」と「幸せ」を実感しながら暮らしていける地域をつくること。

さらに、その「幸せ」を子どもたちへと、世代を超えてつないでいくことではないでしょうか。

このように、人口減少克服への道は、県民の皆さんの幸せの増加につながる道です。

今回、「人幸増加大作戦」というキャッチフレーズを作りました。

ピンクのハートが付いている「幸」に目が行きませんか？

これは、「県民の皆さんと力を合わせ、一緒に“幸せ”を大きく育てたい」という想いを込めたものです。

この「人幸増加大作戦」のもと、県は市町村、民間企業、関係団体と連携して、

県民の皆さんと一緒に、未来を変える挑戦をしていきます。

「待ったなし！」の現状から、“幸せ”あふれる青森県を目指して

人幸増加 大作戦！

逆転の発想で
課題をチャンスに！

平成26年度からスタートした「青森県基本計画未来を変える挑戦」では、「強みをとことん課題をチャンスに」という基本コンセプトを掲げています。これは、「食」などの本県の強みをとことん生かすとともに、他県よりも速いスピードで進む人口減少や、男女とも全国最下位の平均寿命など、本県が抱える課題を逆転の発想で伸びしろの大きいチャンスと捉え、大きな成長につなげていくというものです。

基本計画では、「人口減少克服」「健康長寿県」「食でとことん」の3つの戦略プロジェクトを設け、部局や分野を横断した取組を進めています。中でも、人口減少克服は、本県の最重要課題であることから、3つの戦略プロジェクトを集結させて、重点的に取り組んでいます。

これまでの
取組を「加速」

平成28年度は、5か年計画の「青森県基本計画未来を変える挑戦」の折り返し地点であり、また、昨年8月に策定した「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」による人口減少克服に向けた取組を本格展開する重要な年でもあります。

そのため、多角的な視点で平均寿命のアップ、若者の県内定着や移住の促進、県産品の競争力強化、さらに、北海道新幹線の開業効果を最大限生かした観光客の増加など、人口減少克服に向けた取組を一層加速していきます。



青森県の人口減少の
要因はこの2つ

全国の中でも速いスピードで人口減少が進んでいる青森県。その要因は、就職や進学で若者が県外に転出することなどによる「社会減」と、出生数の減少や、男女ともに平均寿命が短いことなどによる「自然減」の両方が進んでいるためです。

このまま人口減少が進むと、地域経済が縮小し、買い物や公共交通の利用ができなくなるなど日常生活に支障をきたすだけでなく、伝統文化や祭りの継承ができなくなるなど、さまざまな面で私たちの生活に影響が及ぶことが懸念されます。

果敢な取組で
人口減少に歯止め

平成27年国勢調査速報によると、本県の人口は約130万9千人。前回より約6万5千人の減となり、人口減少は加速しています。

その一方で、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を上回る結果となりました。これからも、本県の強みを生かし、県民の皆さんと一緒に、これまで以上に果敢に取り組んでいく必要があります。